

試合番号 : 447		試合会場 : 国立代々木競技場 第一体育館				観客数 : 2,435			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:29		試合時間 : 01:29		主審 : 佐々木 伸子		副審 : 吉岡 奈々	
デンソーエアリービーズ 通算 0勝 1敗 ポイント : -		22 第1セット 25 22 第2セット 25 20 第3セット 25 第4セット 第5セット		埼玉上尾メディックス 通算 1勝 0敗 ポイント : -		監督コメント 本日はリーグ最終戦を勝って終えるチャンスを与えてもらった一戦、大勢のファンの前で自分たちの持ち味を出して勝てたことが何よりも喜ばしいです。 リーグ戦を通して、数々の苦しい場面を乗り越えて、個人やチームの課題に向き合って最後までタフに戦ってくれた選手を讃えたい。また、チームが落ち込んだ時も常に支えてくれたスタッフ、常に熱い声援で選手の背中を押してくれたファンの皆様に感謝したい。 トップリーグに参加して今日で56勝目となりました。これからも選手、スタッフ、ファンの皆様と一緒に成長していきたいです。 まだまだ歴史の浅いチームですが、これからも選手、スタッフ、ファンの皆様と一緒に全国各地から多大なる応援ありがとうございます。 引き続き埼玉上尾メディックスの応援よろしくお願いします。			
監督コメント リーグ最終戦にたくさんの方にご来場いただけたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。 昨日の敗戦から切り替えて、攻めのバレーができました。相手の方が一枚上手でした。セットを勝ちきる、試合を勝ちきる、まだまだ未熟だったと思います。 課題を克服し、次の天皇杯・皇后杯と黒鷲旗に向けて精進していきます。 たくさんの方々に支えられてこの場に立つことができました。 来年はチームとして強く、大きく、厚いチームになって頂点を取ります。		0		3		要約レポート 今シーズンの第3位決定戦を戦うのは、プレミアカンファレンス1位のデンソーエアリービーズとスターカンファレンス4位の埼玉上尾メディックス。 第1セット、序盤デンソーの田代は鍋谷、工藤、シニアードを使い埼玉上尾に挑む。それに対し埼玉上尾の井上はシュジュニャル、吉野、青柳を巧みに操り、立ち向かう。序盤こそ競った試合だったが、中盤以降は埼玉上尾が主導権を握った。最後は埼玉上尾のシュジュニャルの豪快なアタックが決まりこのセットを手に入れた。 第2セット、デンソーはスタートからジャンを起用した。序盤は埼玉上尾がリードを奪うが、中盤からはシーソーゲームとなった。デンソーのジャンはアタック、ブロックと躍動したが、最後は埼玉上尾の堀江のアタックが決まりセットを連取した。 第3セット、スタートダッシュに成功したデンソーが流れをつかんだが、中盤に埼玉上尾に追いつかれた。逆に埼玉上尾はサンティアゴの速攻などでリードを奪った。その後もリードを守り切り、埼玉上尾が勝利を掴んだ。			

試合番号 : 448		試合会場 : 国立代々木競技場 第一体育館				観客数 : 4,499			
開始時間 : 17:10		終了時間 : 19:43		試合時間 : 02:33		主審 : 種元 桂子		副審 : 北村 友香	
岡山シーガルズ 通算 0勝 1敗 ポイント : -		22 第1セット 25 26 第2セット 24 25 第3セット 23 14 第4セット 25 7 第5セット 15		Jマーヴェラス 通算 1勝 0敗 ポイント : -		監督コメント 本日の試合で日本一が決定する。相手は岡山シーガルズ。この試合は厳しい展開になることは予想できた。サイドアウトのよい岡山、さらにブロックとディグの精度が高くなって私たちのバレーボールをすることが難しくなった。 Jマーヴェラスは全員バレーとハードワークをこのシーズンを通してやってきました。頂点を目指して結意というスローガンを掲げて苦しい日々をチーム全員で向き合ってきた結果が、今日、目に見える形となった。 Jマーヴェラス日本一までの道のりを多くのファンの方々に支えられてここまで来ました。本当に感謝しております。ありがとうございます。 今後ともJマーヴェラスをご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。			
監督コメント 第1セットを取られたところから修正をし、第2、第3セットを連取し、第4セットもいい流れで入れたが、少しのスキがチームの乱れにつながってしまった。第5セットはドルズ選手の高さとパワーを炸裂させてしまった。 4セットで逃げきる形が足らなかったことに悔が残った。 今シーズン、大変たくさんの方々の皆様の熱い声援に後押しされこのファイナルの舞台まで来れたこと、本当に感謝しています。 この思いを胸に今後もシーガルズバレーの完成に向け頑張っていきます。 ありがとうございます。		2		3		要約レポート 令和最初の優勝決定戦。Jマーヴェラスと岡山シーガルズの対戦。 第1セット、JTは岡山の攻撃をドルズの芥川のブロックで阻む。対する岡山も、渡邊と及川がブロックを打ち抜くアタックを決めて追撃する。中盤、JTは、小幡の好レシーブを林が決めてリードする。終盤、選手を大幅に交代し攻めの岡山だが追いつくことが出来ず、最後はヒックマンがアタックを決め、JTがこのセットを先取る。 第2セット、岡山は、佐々木の好レシーブから金田と川島が猛攻を見せる。しかし、JTは、林がブロックにアタックにと躍動し、一進一退の攻防となる。中盤、粘り強く立ち向かう岡山を前に、JTはリズムを崩され、リードを許す。終盤、JTは橋井、岡山は高野、吉岡と途中交代の選手が活躍し、再び接戦となる。最後は渡邊がアタックを決め、岡山がこのセットを取り返す。 第3セット、両チームのセッター、岡山は宮下(通)、JTは萩井がアタッカー陣を巧みに操り、熱戦を繰り広げて会場を沸かせる。中盤、岡山は佐々木、渡邊がアタックを決め3連続得点してリードする。JTは、ドルズや林にボールを集めて追撃する。終盤、両チーム一歩も譲らぬ中、最後は佐々木がアタックを決めて岡山がセットを連取する。 第4セット、岡山は、粘りのラリーを支えるリベロの櫛崎、丸山の好レシーブがチームの得点に繋がる。一方のJTは相手の隙をつく攻撃で得点する。中盤、萩井のサービスエースを含む5連続得点でリードしたJTがこのセットを取り返し、勝負のフルセットに持ち込んだ。 第5セット、序盤からJTがドルズを中心に猛攻を仕掛ける。居村のサービスエースやアタックで粘る岡山を、最後は柴田が2連続サービスエースを決めて突き放し、JTが令和最初の女王となった。			

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									